

労災発生を抑止する技術を検証しています

各種作業現場で不安全行動を 自動検知し、注意を促します

背景・目的

- 画像解析技術の進展により、ヒトの行動解析や物体検出が可能になっている。
- 各種作業時の行動を解析し、不安全行動を検知すると注意を促すシステムを実現する。

特長

- ヒトの姿勢推定や、顔向き推定、画像分類を行う画像解析AIモデルを活用
- AIモデルの解析結果から、所定の不安全行動の検知をした場合は注意を促す
- ヒヤリハットが発生した場合には、行動解析により客観的情報から発生原因を推定
- 今回は弊社でヒヤリハットや災害発生事例の多い階段階段昇降を対象にシステムを構築

用途

- 不安全行動が規定できる作業の労災発生抑止技術として活用
- さまざまな現場での安全行動の習慣化・定着化、安全意識の向上への寄与を期待



【画像解析】※

- 姿勢や動作の推定
- 顔向き推定
- 画像分類(顔の向き:よそ見・正常)

【行動判断(不安全行動検知)】

- 手すりを持たない
- よそ見
- 1段抜かし
- 走る

LIGHTBLUE TECHNOLOGY

※ 技術提供:株式会社Lightblue Technologyさま